



二期のまとめ



二期も残すところ、あとわずかとなりました。子どもたちは、これまで学習した内容をしっかりと身に付けるために、二期の復習に力を入れています。

特に、国語や算数は、漢字や計算など覚えるべき内容が多いので、繰り返し練習をしています。特に、漢字は字形や筆順などを確認するのに、タブレット用の教材（キュービナ）を活用しています。漢字や計算ドリルのアプリや漢字検定対策のアプリなどもあるので、三期以降、学力テストや漢検対策としても、大いに活用していきたいと考えています。

先日の個別懇談や学年のお便りなどでお伝えしたように、冬休みに向けて、どの学年も二期の復習に問題集を配付する予定です。

文責 本宮小校長 佐久間仁

子どもたちが計画的に進めることができるよう見守り、励ましていただけるとうり難しいです。まずはメディアを消して、落ち着いて取り組める環境づくりをお願いします。また学習が終わりましたら、ご家庭で丸付けをお願いします。間違えたところは、答えを写すのではなく、必ず解き直しをさせてください。「そうか！」「わかった！」という喜びが子どもたちの意欲につながります。理解するまで（納得するまで）頑張ったことに対しては、たくさん褒め、自信をもたせてください。

なお、そのほかの冬休みの課題については、各学年のお便りをご確認ください。冬休みは十七日間と短いので、やるべきことはなるべく早く済ませて、余裕をもって三期の準備ができるよう、毎日お声かけをお願いします。



まとめを頑張っています

見 学学習のまとめ



三年生は、社会科の学習でくらしを守る仕事について学習をしました。十一月には南消防署を訪れ、人々の生命と財産を守る仕事について理解を深めました。

◎児童の感想

「わたしは、消防署見学に行くと、火事は一年にどれほど起きているのかが一番心に残りました。全国の火事の数は、十二万六千三百七十五件、福島県だけでも五百六十九件、本宮市と大玉村でも十四件と、火事の件数が多いことが分かりました。その他に火事の件数ラッキンクでも、一位東京都が三千九百七十件、二位かな川県が千八百九十四件、三位あいち県が千八百六十一件と、一つ一つの県でも火事の件数がとても多いということが分かりました。これからは火事を起こさないようにしたいです。」

(K・R)

「わたしが一番おどろいたのは、防火服が二十キロもあることです。初めて分かったことも二つあります。一つ目は、防火服は四百度までたえられることです。なぜかと言うと、初めはそんなにたえられず、初めはそんなにならなからです。」

二つ目は、予防とは火災の原因を調べることです。わたしは最初予防とは火事が起きないようにという意味だと思っていました。消防署見学の時はいろいろ知ることができたのでうれしかったです。(A・M)

「消防署を見学して心に残ったことは、二十四時間働くことです。いつ火事が起こるか分からないから大変だと思いました。他に着替えは早くして、九秒くらいと言っていたので、すごくびっくりしました。わたしは、一分はかかるので、すごいと思いました。命がけで人を助けるのは、これからもたくさんあるのだから大変だと思いました。少しでも火事をへらすために、わたしも火事に気をつけたいと思います。(N・Y)」



発見がたくさん

給食用白衣の点検・修繕について

カルチャー委員会の皆様には、お手数をおかけしますが、二十二日までに学校へ白衣を受け取りにおいでください。その際、職員室へ一声かけてくださるようお願いいたします。